



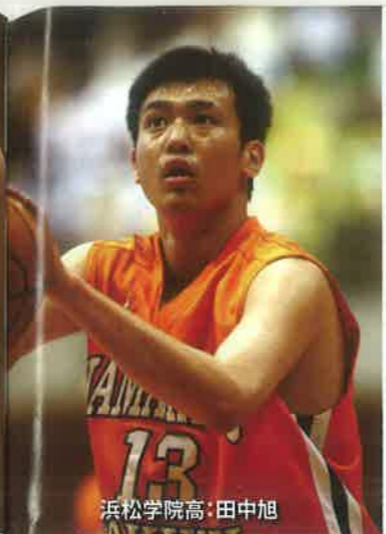
飛龍高:安部紘貴



藤枝明誠高:林大真



沼津中央高:今村拓夢



浜松学院高:田中旭



常葉学園高:篠宮杏奈



駿河総合高:浜辺詞織



浜松開誠館高:小幡美乃理



東海大静岡翔洋高:濱本希代加

# PREVIEW of WINTER CUP 2015

第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 静岡県予選 大会展望

文責:中島 洋己(静岡県バスケットボール協会広報委員長・浜松市立高校教諭)

高校バスケット三大タイトルのひとつ、全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(通称ウィンターカップ)静岡県予選が、いよいよ10月24日から静岡県武道館他で開催される(全国大会は12月23日から東京体育館で開催)。会にける想いはどのチームも強い。岡県バスケットボール協会広報委員長)に聞いてみた。

## Men 男子展望

本命はやはり新人戦県大会と総体県予選で優勝、7月の総体全国大会でもベスト16に入った飛龍。その原動力となったエース安部紘貴のカットインしてからの切れ味あるドライブは、ディフェンスがそのスピードに追いつけないほど。間違いなく今大会注目度ナンバーワンプレーヤーである。中盤の小宮光紀は怪我に泣かされてきたが、大事なところで勝負を決めるチームの大黒柱である。インサイドの関屋風画、馮俊凱とともに県選抜選手。この2人にボールが多く入る展開に持ち込めば、9年ぶりの優勝そして新人戦、総体、ウィンターカップと、県三冠の可能性は高い。

対抗は藤枝明誠。2月に三上淳前監督が急逝、4月に教え子の江口里沙氏が監督に就任。抜群のリーダーシップでチームを牽引、総体県予選準優勝で10年連続の総体全国大会出場を勝ち取った。主将の林大真はチームの司令塔で積極的にゴール下に切り込むプレーを得意とする。中盤の草野佑太、奥野綾汰は共に185センチを超える長身を生かしたプレーが魅力。特に奥野は東海国体少年男子の主将を務め、信頼感も絶大である。石井竜馬、富田一成に加え、県内最長の2メートルの中国人留学生・張新鋒を擁するセンター陣は、高さだけでなくブレイク時のスピードも誇る。

沼津中央はU-18日本代表候補にも選ばれた今村拓夢がチームの得点源。抜群の跳躍力でブロックをかわしながらのシュートは見事。ここ一番でチームを救う。4強以外のチームにもチャンスは十分にある。エース二村響や神田諒成を中心に、攻守隙のないバスケットを展開する浜松開誠館、東海国体メンバーの高橋佳希を擁する静岡学園、攻撃力が魅力のエース井村大我を中心とした公立の雄・伊豆中央、新人戦県大会、総体県予選ともにベスト8の尾隆、そして県内日本人最長身192センチの越後航平や全中出場経験のある古藤田雄貴など戦力が充実している加藤学園などが4強を追いかける。

## Women 女子展望

今年も常葉学園が他の追従を許さない強さを誇る。現在県内三大会(新人戦、総体、ウィンターカップ)6連覇中。2年半県勢相手に負けなしと、まさに無敵である。戦力も充実期にさしかかり、伝家の宝刀「ステイロー」からの速攻の切れ味はますます冴えわたる。エース篠宮杏奈の広いシュートエリアから放たれる正確なジャンプシュートは、全国でも間違いなくトップレベル。司令塔の見崎南美は軽快なフットワークが持ち味でディフェンスの要。リバウンドやゴール下での果敢なシュートが武器のセンター河合夏海。怪我から復帰した柴美佑や、伊東かおる、ひかる姉妹、国体メンバー高橋夏瑠、さらに控えの長身センター174センチの野本陽香など豪華な顔ぶれ。4年連続16回目の優勝に向かって死闘はない。

ストゥップ常葉の一番手は昨年とほとんどレギュラーが変わらない駿河総合。センター陣3人の平均身長は176センチ。スピードを強化した大串梨沙、今春トップエンデバーに選ばれた加藤陽、速さが魅力の池ヶ谷優香を揃える。司令塔の西村茉優は45度から切れ込むシュートを得意とし、中盤の浜辺詞織、瀧本菜々子は多くの実戦を経験しチームの得点源へと成長した。総体全国大会で強豪山村学園(埼玉)を攻略した「考えを削り出す激しいバスケット」にさらなる磨きをかけ、悲願の初優勝を目指す。総体県予選3位の浜松開誠館も猛追

する。併設中学で全中ベスト8に輝いた選手が中心で、エース小幡美乃理、司令塔で3Pシュートが持ち味の山口史乃、2年生の陽本麻優は国体メンバー。前身の誠心として昭和63年度に全国選抜出場経験があるが、浜松開誠館としては東京体育館のコートは未踏である。初優勝で西部地区女子27年ぶりの全国選抜出場を決めることが出来るか。

東海大静岡翔洋は一部の3年生が引退し、2年生主体のチームで臨む。多彩な攻撃が持ち味の濱本希代加が攻撃の要。総体県予選決勝リーグ3試合ではチーム総得点149点中52点、実に35%を濱本が記録した。新チームキャプテン、173センチのセンター西村紗那や、怪我から復調した糟屋菜里、チームの精神的支柱である平田萌香など、勢いに乗れば上記の3強にも迫る強さを持つ。他チームでは、県新人4位の浜松学院が上記4チームに最も肉薄している。安定したシュート成功率を誇る添田南葉、スピード感あふれる古野美希、県内女子最高身長183センチの新村莉子と強力な布陣。浜松海の星はインサイドでのボール支配が巧みな飯島浩がチームの核。173センチ名倉百香とのツインタワーを有機的に活用出来ればどのチームも苦戦するだろう。藤枝明誠は3年生エース柴田江馬が残った。強引なドライブから放たれるレイアップシュートは他チームの脅威となる。浜松市立は都道府県対抗ジュニアに出場経験のある白井渚や、8月の県トップアスリートにも招集された天野優がチームの中心となるはずである。